

市民フォーラム 里山グリーンインフラの可能性

里山の地形と水の流れを、防災、生物保全、水質浄化など、多様な機能をもつインフラとして活かす、新しい社会を考えます。
(詳細は裏面をご覧ください)

日時 2017年12月17日(日) 13:00~16:30
場所 東邦大学薬学部 C101 (東邦大学習志野キャンパス)

参加無料！(事前登録不要)

プログラム (発表タイトル等は変更する可能性があります)

第一部 研究者からの話題提供

- 趣旨説明「里山グリーンインフラ」とは？ 西廣淳 (東邦大学理学部准教授)
- 里山の水循環とその変化 近藤昭彦 (千葉大学環境リモートセンシング研究センター教授)
- 里山の生物とその変化 長谷川雅美 (東邦大学理学部教授)
- 谷津システムと水質浄化 高津文人 (国立環境研究所湖沼・河川環境研究室長)
- 谷津システムと治水 大槻順朗 (土木研究所専門研究員)

第二部 活動・研究事例報告

- 高橋 栞 (東邦大学理学研究科・修士2年)
- 矢野真理 (NPO法人谷田武西の原っぱと森の会)
- 寺園直美 (神崎川を守るしろい八幡溜の会)
- 小山尚子 (亀成川を愛する会)
- 東邦大学里山応援隊 (ほか)

第三部 意見交換会

問合せ先 西廣 淳
東邦大学理学部生命圏環境科学科
Tel. & Fax 047-472-3512
jun.nishihiro@env.sci.toho-u.ac.jp

主催 東邦大学理学部 野生生物保全研究センター

環境研究総合推進費4-1705「湿地の多面的価値評価軸の開発と広域評価に向けた情報基盤形成」研究チーム
ほか

市民フォーラム 里山グリーンインフラの可能性

開催趣旨

ダム、水門、ポンプ施設・・・様々なインフラのおかげで、私たちの暮らしの安全性は昔に比べて大きく改善されました。一方、身近な動植物の減少や水質悪化などの問題はいつそう深刻になっています。

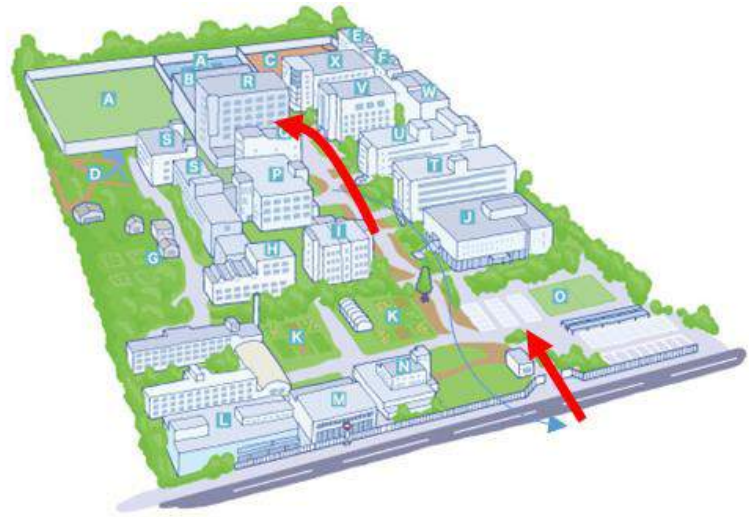
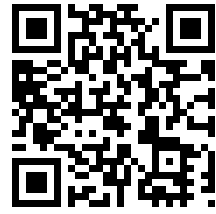
「台地に降った雨が土にしみ込み、地下水を涵し、湧水を生み、湿地を養い、ゆっくりと河川に流れ込む。その過程で多様な動植物の生息場所が確保され、過剰な栄養が除去され、水害の危険性を低減され、人と自然のふれあいの機会が提供される。」

本フォーラムでは、このような仕組みを里山グリーンインフラと呼び、その効果と実現可能性を議論します。過去の開発を批判・否定するのではなく、既存のインフラの機能を補完する、人口減少・気候変動時代に即した、新しい社会基盤の考え方や技術、実現のための体制や制度について知恵を出し合う機会にしたいと思います。

市民、学生、農業者、行政関係者、研究者など多くの方々のご参加をお待ちしております。
(主催者を代表して、西廣淳)

会場

東邦大学薬学部 C101教室
東邦大学習志野キャンパス
JR津田沼駅からバス約10分
京成大久保駅徒歩約15分
<http://www.toho-u.ac.jp/accessmap/>



- | | | |
|-----------------------------|------------------------------------|------------|
| A テニスコート(工事中)
グラウンド(工事中) | I 教養1号館 | 薬学部 |
| B 体育館(工事中) | J 習志野メディアセンター
(図書館・マルチメディアスタジオ) | P 薬学部A館 |
| C 野球場(工事中) | K 薬用植物見本園(薬草園) | O 薬学部B館 |
| D 薬本園 | L 学生食堂(PAL) | R 薬学部C館 |
| E 学生部室1号館 | M 学生ラウンジ | S 薬学部E館 |
| F 学生部室2号館 | N 東邦会館
(キャリアセンター・マルチメディアラウンジ) | 理学部 |
| G メディカルハーブガーデン | O 多目的コート | T 理学部I号館 |
| H 教養2号館 | | U 理学部II号館 |
| | | V 理学部III号館 |
| | | W 理学部IV号館 |
| | | X 理学部V号館 |



問合せ先
西廣 淳 (にしひろ じゅん)
東邦大学理学部生命圏環境科学科
jun.nishihiro@env.sci.toho-u.ac.jp
Tel. & Fax 047-472-3512